

各 位

2026年8月5日
株式会社イクヨ(証券コード:7273)
代表取締役社長 孫 峰

**イクヨオートモーティブとアース製薬が「MA-T System[®]」を
活用した共同開発を開始**
～ポリプロピレン樹脂への塗装・プリント工程の合理化と、
サステナブルなものづくりの実現を目指す～

当社子会社の自動車用プラスチック部品の製造・開発を手掛けるイクヨオートモーティブ株式会社(本社:神奈川県厚木市、代表取締役社長:孫 峰、以下「イクヨオートモーティブ」)と、アース製薬株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川端克宜、以下「アース製薬」)は、アース製薬が推進する革新的な酸化制御技術「MA-T System[®]」(要時生成型亜塩素酸イオン水溶液)を活用した自動車部品製造における新たな表面改質技術の共同開発を開始したことをお知らせいたします。

■ 共同開発の背景と目的

自動車産業において、環境負荷の低減(カーボンニュートラル)と製造工程の効率化は最重要課題となっています。特に、自動車の内外装に広く使われる「ポリプロピレン(PP)樹脂」は、軽量でリサイクル性に優れる反面、塗料やインクが密着しにくいという課題があり、これまでは環境負荷の高い表面処理が必要でした。

本共同開発では、アース製薬が持つ安全かつ高い除菌・消臭・酸化制御効果を誇る「MA-T System[®]」を工業用表面改質技術へと応用します。イクヨオートモーティブの自動車部品開発の知見と掛け合わせることで、環境に優しく効率的な次世代の製造プロセスの確立を目指します。

イクヨオートモーティブとアース製薬は、具体的に以下のテーマについて検証および用途開発を進めてまいります。

① 樹脂成形品における表面処理プロセスの合理化と環境負荷低減の検証

従来の製造工程におけるプロセスの見直しを生産レベルで検証し、「MA-T System[®]」を活用した代替プロセスの確立を目指します。

② 「MA-T System[®]」による表面改質効果の基礎検証と用途開発

樹脂表面に対する「MA-T System[®]」の親水性向上などの効果を検証し、自動車部品をはじめとする様々なプラスチック製品への応用を模索します。

③ 次世代加飾・印刷技術への応用開発

自動車の内外装デザインの高度化・多様化に対応するため、特定のプリント加飾プロセスにおいて「MA-T System[®]」を導入。素材に対する密着性と高い耐久性を両立する次世代の加飾技術の開発を行います。

■ MA-T System[®](要時生成型亜塩素酸イオン水溶液)について

アース製薬が普及を推進する、革新的な酸化制御技術です。必要な時に必要な量だけ活性種(水性ラジカル)を生成させることで、高い効果と安全性の両立を実現しています。これまでは医療・衛生・農業分野を中心に展開されてきましたが、その優れた酸化制御能がプラスチックの表面改質(接着性・塗装性の向上)にも有効であるとして、工業分野からも大きな注目を集めています。

アース製薬 MA-T詳細: <https://corp.earth.jp/jp/company/business-product/ma-t/index.html>

■ 会社概要

【アース製薬株式会社】

所在地: 東京都千代田区神田司町二丁目12番地1

代表者: 代表取締役社長CEO 川端 克宜

事業内容: 医薬品、医薬部外品、医療用具、家庭用品等の製造、販売、輸出入

URL: <https://corp.earth.jp/jp/index.html>

【イクヨオートモーティブ株式会社】

所在地: 神奈川県厚木市上依知3019

代表者: 代表取締役社長 孫 峰

事業内容: 自動車用プラスチック部品の開発・製造・販売

URL: <https://www.ikuyo194-automotive.co.jp/>

以上

【当リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社イクヨ ストラテジック デザイン部

Email: mail-ikuyohd@ikuyo194.co.jp